



歴史まちづくり

ニュース

第18号



発行：名古屋市観光文化交流局歴史まちづくり推進室 Tel.052-972-2782

発行日：令和元年7月

有松地区の防災計画策定に向けて

歴史的な建造物が残る町並みは、一般的な市街地と比べ、火災、地震などの災害に対して、弱い面があるため、地区の防災性向上が喫緊の課題となっています。

名古屋市では、令和元年度～2年度の二か年において、有松地区内で想定される災害への対策等を防災計画としてまとめるため、専門家・学区及び消防団等各地元団体・市関係部署で構成される有松防災計画策定検討懇談会と意見交換を図りながら調査・検討を進めていきます。

火災などの調査を名古屋市立大学の志田弘二教授、耐震調査を豊田高専の今岡克也教授に依頼しています。お二方は他の伝建地区でも防災計画策定に携わっておりました。

実地調査に向けてご挨拶



8月頃より現地での実地調査を開始します。住民の皆様にはご協力をお願いすることもあるかと思しますので何卒よろしくお願いいたします。先生方のご紹介を兼ねてご挨拶を紹介します。

◆火災等の調査：名古屋市立大学芸術工学研究科 志田弘二教授

伝統的な景観・文化・生活・産業を保存・継承するためには、地震・火災・水災からの被害を軽減できる防災計画が必要です。公的な対策(公助)や防災整備だけに頼るのではなく住民等が主役となった自助・共助の力を高めることも必要です。調査を通して皆さんと一緒に検討したいと思います。



◆耐震の調査：豊田工業高等専門学校建築学科 今岡克也教授

有松にお住まいの皆様、はじめまして、豊田高専で建築構造の研究をしている今岡克也です。このたび、皆様の伝統的建造物の主屋について耐震調査を担当することになりました。ご希望によって学生と一緒に訪問して、人力加振や水平起振器の実験を行いますので、よろしくお願いいたします。



個別に調査が必要な場合は、改めて、歴史まちづくり推進室よりご連絡させていただきますのでご協力よろしくお願いいたします。



伝建地区・町並み保存地区に関するご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室

TEL：052-972-2782 FAX：052-972-4128 E-mail：a2782@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp